

2020年(令和2年)

日刊建設工業新聞

2月7日(金)
第19839号

ワンチームで活動

JSCA東北賀詞交歓会

日本建築構造技術者協会
(JSCA) 東北支部(平山浩史支部長)は1月31日、仙台市青葉区のパレスへいんで新年賀詞交歓会を開いた。会員や来賓ら約140人が出席し、新春の門出を祝った。

平山支部長は「支部長就任時に八つの方針を示したが、幹事会を筆頭に各委員会で連絡を密に取り、特に



写真

東北地方整備局の板橋薫常務部長らによる来賓祝辞に続き、源栄正人東北大名誉教授の音頭で乾杯し歓談に移った。

交歓会に先駆ち、大成建設設計本部の細澤治顧問が「新国立競技場の設計について」をテーマに講演した。

秋田での支部活動を活発化したい。また、宮城以外での講演会や研修会を積極的に行い、一般会員や学生会員も増やしたい。他の団体とのコラボレーションも図り、今後もJSCAの活動を東北6県に広めていくため、東北支部がワンチームになって、令和の時代を進めていきたい」と話した